

令和6年大豆農事メモ (狭畦栽培 別号①)

令和6年5月17日
白山石川営農推進協議会
松任市農業協同組合

<狭畦栽培の播種時のポイント>

- 品種「里のほほえみ」を用い6月中旬以降(6/11~25)に播種する。
- 播種量8kg/10a、播種深度4cmを基準とし苗立本数を確保する。
- 無培土の管理となるため、土壌処理剤による初期雑草を確実に行う。

<具体的な留意点>

1 播種前のほ場準備

- ・排水対策、pH矯正は通常の栽培と同様に実施

⚠ 特に狭畦栽培は栽培期間中に培土を行わないため、排水対策は重要です！

2 播種の設定

慣行栽培とは播種量と播種深度が異なるので注意！

播種時期	10a当たり 播種量	播種深度	播種密度		目標苗立本数 (苗立率80%換算)	
			条間	株間	1m当たり	1㎡当たり
6月11日～ 25日	8kg	4cm ※	幅25cm	17～20cm	4本	15～17本
			幅30cm	14～17cm	4～5本	

※狭畦栽培は株が徒長しやすく、倒伏を防ぐために播種深度を慣行よりも深くする（参考：慣行では3cm）

3 播種の流れと注意点

作業適期は6月11日～25日

耕起整地

施肥・播種

除草剤散布

ねらい

出芽・苗立確保と
初期除草の完結

播種深度や土壌処理等の作業精度を高めるために
晴天日に期間を空けずに各工程を実施するのがベスト

4 施肥体系

肥料名	大豆一発M	施肥量	30kg/10a
-----	-------	-----	----------

※培土・追肥しないため、一発肥料を使用する

5 除草剤散布

播種直後の除草剤の種類や使用方法は、
慣行の体系に準じる

